

寄居とろとろナス



今が旬。
やわらか、おいしい!!

寄居町の特産品、寄居とろとろナスが旬を迎えました。寄居とろとろナスは青ナスの一種で、名前の由来にもなっているように加熱調理すると果肉がとても柔らかくなり「とろとろ」した食感が楽しめます。収穫時期は6月下旬から10月下旬まで。「寄居とろとろナス研究会」の皆さんが寄居ブランドとして丹精込めて生産していますので、ぜひご賞味ください。

☎ 産業振興企業誘致課 ☎ 581・2121内線401・402

レシピ紹介

- 寄居とろとろナスボードwithきのこ
- 寄居とろとろナスのナポリ風ピザ
- 寄居とろとろナスバーガー など

材料、作り方は
こちらをご覧ください。



町公式ホームページ



主な販売場所

ふかや農業協同組合(JAふかや)の直売所、寄居駅南口駅前拠点施設「Yotteco」等で販売しています。

- 用土農産物直売センター (用土831-1、☎ 584・2110)
- 男衾農産物直売所 (富田114-1、☎ 582・0909)
- 寄居駅南口駅前拠点施設「Yotteco」 (寄居1231-11、☎ 580・7307)

こちら編集室

ジリジリとした日差しが照り付ける。夏本番の8月がやってきました。35度を超えるような厳しい暑さの日が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。●そんな暑さが少し和らぐ涼しげな歌をご紹介します。「道の辺に 清水流るる」柳陰し。そしてこそ立ちどまりつれば平安時代末期の歌人・西行法師が詠んだ歌で「道のほとり」に清水流るる柳の木陰を見つめ、思わずうしろ足をとめてしまったという夏の涼やかな情景が描かれています。●今月の表紙は、深緑に包まれた風布川を切り取った一枚です。風のみち遊歩道を歩いていた時、清らかな流れにふと足を止めた時、清々とした気持ちになりました。●西行といえは、寄居町の末裔に、その名にちなむ「西行戻り橋」があります。秩父へ歌の修行に向かう途中、この地を通った言い伝えから名づけられたとされている橋です。●橋のたもとには詳しい由来が書かれた看板が設置されています。うか。木陰での一休みも忘れずに。②

寄居町公式SNS随時情報発信中!



◀7月25日と26日に開催された寄居朝顔まつり。会場では色とりどりの朝顔が花を咲かせていました。町のさまざまな情報をFacebookで公開しています。

Facebook

